

本調査研究の概要

オーストリアを対象に、農村地域における地域活性化とモビリティの取組（オストチロール）、都市部でのICTを活用した渋滞緩和や気象変動対策（リンツ）、またICTによるモビリティデータの国家的な基盤整備のあり方を調査。

結果概要

農村地域における地域活性化とモビリティの取組（オストチロール）

- オストチロール地域管理委員会（Regionsmanagement Osttirol : RMO）は、地域発展戦略の策定や地域振興プロジェクトの実施に係る非営利団体である。地域のモビリティ確保のほか、地域産業振興、地産地消や観光に関する活動を行っており、モビリティ確保のみならず、地域での生産製品の国内外への販売、地域の雇用確保といった面でも、地域定住及び持続可能な地域活動にも貢献している。



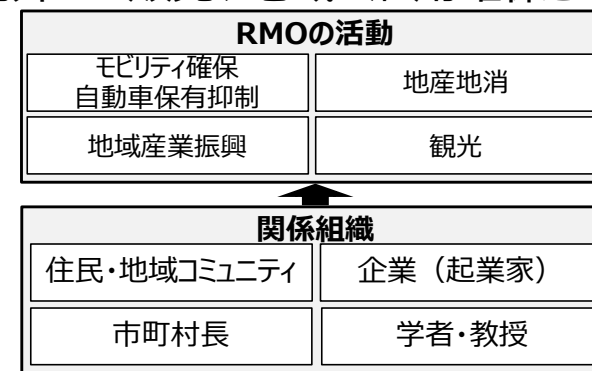
EVカーシェアリング



EV充電器製造



木材加工・販売



ICT活用での渋滞緩和や気象変動対策（リンツ）

- Domino OÖは、カープールやインターモーダルに関する出発時刻等のリアルタイム情報を提供。公共交通、自転車、徒歩、カープールといった複合的なルートが検索できる。CO₂やカロリー消費量も確認可能。
- カープールには、自身運転のカープールサービスの同乗依頼と、他者運転のカープール予約の2種類を扱う。

ICTによるモビリティデータの国家的な基盤整備

- オーストリア交通情報（Verkehrsauskunft Österreich : VAO）は、インターモーダル交通情報サービス基盤のモビリティデータプラットフォームを提供。
- API（Application Programming Interface）のデータ統合し、国土全体の道路や公共交通等、あらゆるモードを統合するマルチモーダルな経路システムを提供。